

2020 年度関東甲信越支部総会の報告

2019 年度総務委員長 榎本雅夫

今年度は新型コロナウイルスの緊急事態宣言を受け、書面審議かつ原則オンラインで回答を行う異例の総会となった。総会通知時点の正会員数 1,617 名のうち、総会成立要件である正会員数の 10 分の 1 以上（支部規約第 9 条 3 項）の 593 名から回答があった。回答の参加率は 36.1%で、集合方式であった 2019 年度が 37.8%、2018 年度が 34.4%であったが、委任状のみの参加も含まれている数値なので、今回の WEB で各審議事項について審議できたことと単純に数値の比較はできない。

議案は第 1 号から第 5 号議案のすべてが 590 名以上の賛成多数により承認された。混乱なく総会が開催できた背景に、リモートワーク+開催方式の変更というイレギュラーな対応に当たった浅尾事務局長、オンラインを主導した広報副委員長の中澤常任幹事の尽力があったことを申し添えたい。

■第 1 号議案 2019 年度事業報告承認の件

例年通り、2019 年度通常総会、役員会関連、委員会活動報告、地域活動報告について、関係各位より文書をもってご報告いただいた。

■第 2 号議案 2019 年度収支決算承認の件

収支差額としては 30 万程のマイナスとなったが、その主因は事務局員の 1 名退職に伴い、給与手当、退職金支出が予算から変動したことによるものであり、これを除くと概ね予算計画通りの収支バランスであったと判断できる。

■第 3 号議案 支部規約改正の件

学生会員は入会金のみ徴収、年会費を廃止することで、学生の入会促進を図る。

■第 4 号議案 支部地域会規約改正の件

地域会役員を構成するにあたり、地域会長（代表）及び副地域会長（副代表）1 名は正会員とするよう定めた。

■第 5 号議案 役員及び監査選任の件

幹事 15 名、監査 1 名が選任された。

■報告事項 1 2020 年度活動方針について

わが国唯一の設計専門職能団体であることの意義と目的に沿った活動、全国単一組織を活かす本部との円滑な連携、会員増強への対策、積み重ねられた実績の更なる展開、各組織の連携推進、JIA の社会的価値と魅力を通じた社会的プレゼンスの拡充等の基本方針が示された。活動目標・計画は大きく 6 つ（社会的プレゼンス、会員サービス、関連団体との連携、本部との連携、地域会・委員会活動の活性と連携、持続可能な運営）に分類されたうえで具体的に列挙された。

■報告事項2 2020年度収支予算について

正会員の減少（＝収入減）が続く厳しい財政状況下において、これまで年度ごとに様々な予算方針を立てて収支バランスを維持してきた。2020年度予算方針では地域活動費の支出削減を掲げている。予算のより一層の有効活用を図ることは勿論、組織内外との連携強化を含む効率的な取り組み、あるいは新たな事業展開も視野に入れながら、JIAの多様な活動が持続、発展できるよう十分留意すべきと考える。なお、新たに支部組織に加わった空間ワークショップフォーラムに活動予算を確保した。

都内地域会を対象に2019年度開催した事業調整WGは情報の共有や活動予算の立案等意思疎通を図るうえで有効であったことから、今年度も開催の見込みである。その一方、委員会活動の一層の「見える化」、事業計画を反映した予算調整、収支結果に対する検証等を課題とすることによって、組織全体としての一体感が強まると思う。